

田口櫻村 おんこう 小説家、劇作家。明治二十一年二月二十七日東京生れ、昭和二十九年歿（八六―九六）。本名憲二。大正に入りた頃から家庭小説、悲劇小説と銘打った作品多數がある。『野菊の宿』（大正二年一月）二十日ニ芳屋書店・松陽堂書店）、『東風物語』（大正二年四月十五日ニ芳屋書店）、『波のつゞみ（鼓）』（大正四年十月九日ニ芳屋書店）等。中でも『東風物語』は、前年の日本活動寫眞株式會社（白活）の依頼で「花吹雪」と題して書いた映畫の原作を、書肆の需^{もと}めで小説體に改作したと序文にある。豫^{おぼ}て同情してかた新^{あらた}平民^{びん}を題材にしたもので、のちに「部落問題文芸・作品選集」第二十八卷（昭和五十一年二月）二十五日世界文庫）として復刻せられた。他に翻譯、シエークスピア作『ロメオとジュリエット』（内題「新譯ロメオとジュリエット」大正二年九月）二十五日松陽堂書店・ニ芳屋書店、「沙翁叢書」がある。

その後、新設の松竹キネマに招かれ、蒲田撮影所の所長として現場の中心となり、友人栗島旅衣の娘すみ子を映畫十女優に導くなどした。

